



「まつかぜ」の命名は、初代学園長村島隕之先生の著書「松風のひとりごと」に因みます。

校友会の皆様へ

平和学園・アレセア湘南校友会 会長 倉澤 条太

ようやく感染症も世界的に治まりつつあり、経済活動も活発になり社会生活も徐々にも戻りつつあるようです。

学校の行事も学内のみに限定的ではありますが、開催されており早く地域に開かれた活動ができていくことを望んでおります。

校友会の活動も様々な制限を受け、昨年12月のパイプオルガンコンサートでは客席を半数にして開催できましたが、本年5月のジャズコンサートはオミクロン株の拡大期にあたり、残念ながら開催を見送ることとなりました。

本年はパイプオルガンコンサートおよびジャズコンサートとも開催をしてみたいと思います。

本会報誌『まつかぜ』は校友会として発行して本誌で第3号となり、平和学園・アレセア湘南のすべての卒業生に向けて、紙面およびWebページにて発信してまいります。

今回の『まつかぜ』では卒業生の思い出や今にスポットをあてて記事をお伝えしてまいります。

皆様も記事を読みながら昔の思い出を呼び起こして頂けたらと思います。

卒業生の皆様はその繋がりを大切に、地域の中で活躍する応援をしてみたいと思います。

今後とも皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

パイプオルガンコンサートについて

実行委員長 山本 成美

2021年の第34回パイプオルガンコンサートはコロナ禍、開催が危ぶまれましたが、学園との話し合いにより、賀川村島記念講堂の収容人数を通常の半分以下の250名に設定し、検温・マスク着用・手指の消毒等感染予防対策をしっかりと行い12月11日に開催するに至りました。

演奏はチャリティーコンサートにご理解のある後藤香織氏と、本校パイプオルガン講座出身の塩澤真輝氏による「GoTo Travel～みんなで作るクリスマスの贈り物」と題した、パイプオルガンの演奏がメインのクリスマスに相応しいコンサートとなりました。

来場して下さったお子様には、実際にパイプオルガンを近くで見学する時間を設け、皆さんから「嬉しかった」「すごかった」ととても喜んで頂きました。当日集まりましたチャリティーは146,730円となり、茅ヶ崎市内にある3つの児童養護施設にそれぞれお渡しいたしました。ご寄付くださった皆様に感謝申し上げます。

本年は2022年12月10日（土）にコンサートを開催する予定です。出演は後藤香織氏と塩澤真輝氏にお願いいたしました。

詳細につきましては、後日、校友会のホームページ、Facebook、掲示板等でお知らせいたします。楽しいクリスマスのひと時を皆様に過ごして頂けるよう準備をしております。



学校法人平和学園小学校長 橋 明子(高1977)

卒業生の皆様、お元気でしょうか。小学校を懐かしく思っていて下さることが、小学校の歴史をつなぐ私たちに大きな力となっています。このコロナ禍ではありますが、お近くにいらした際には、ぜひお立ち寄りください。

さて、今年度は新1年生12名を迎えて、学校生活が始まりました。平和学園の特徴である縦のつながりが、今年度も友だちの花をたくさん咲かせています。初めての学校生活に不安を抱えた1年生。楽しそうに過ごす姿も見られます。時折、戸惑う姿や不安な様子もあります。そのような時にどこからともなく、声をかけて、さりげない優しさで包んでくれる上級生がいます。子どもと子どもの間に優しい風が流れて、平和の空気で満たされています。この子どもたちの姿が、「平和を作り出す人々は幸いである」という学園聖句につながり、学校生活の中でしっかりと平和のバトンを繋げてきているのでしょう。

さて、平和学園では各部が毎年、一年間の支えとして年間聖句を定めています。小学校は一年間の終わりに次年度を見つめつつ、祈りを持って一つの聖句を選ぶとき、先生方の思いが込められ、み言葉が与えられています。2022年度はコロサイ信徒への手紙3章15節です。「キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずから

せるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。」現在の社会で起きている様々な事柄に、心を痛める子どもたち。繰り返してはいけない戦争、予想もできない事故や事件、自然災害の恐ろしさも。小学校の子どもたちは、平和を思い、毎月「隣人を覚える礼拝」として、全校で祈る時を大切にしています。創立以来、村島先生、賀川先生がイエスキリストに倣ってと歩んできた歴史を私たちはこれからも大事にしていきます。

今の時代によく言われている、「当たり前の大切さ」。朝起きて食事をし、体を動かして様々な事柄にチャレンジをする。日々の生活の中では、一つひとつ立ち止まって考えなくても流れる時間、日々の生活。その中で平和を作り出すという学園の使命を心に刻んで、これからも、児童とともに学園を大切に、私たちの使命を繋げ続けていきたいと思えます。どうぞこの一年間も皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。



村島帰之先生ご生誕130周年 記念礼拝のご案内

日時:2022年11月12日(土) 14:00~16:00

会場:平和学園賀川村島記念講堂

記念礼拝

司会:藤本 朝巳 学園長

奏楽:鶴丸 富士子 先生

賛美歌

説教:岡崎 晃 先生

「村島 帰之 先生 ご生誕130年によせて」

座談会

「建学の精神を紡ぐ」—村島帰之先生の記憶—

卒業生 吉田吉男(中高4回生・中1952高1955) 他

主催 平和学園アレセイア湘南校友会
共催 学校法人平和学園

この度、村島帰之先生ご生誕130周年にあたりお祈りを捧げ、平和学園に関わる皆様とともに建学の精神を改めて考える機会としたいと存じます。

村島先生から教わった当時の在學生がご高齢となり、その記憶が薄れようとしています。

当時、在學生らが村島先生から教わったや思い出、また、当時の平和学園の校風や先生そして子どもたちや家族がどのようにかわりこの学園が運営されたのか、当時を知る生の声を聞き村島先生の記憶を辿りながら、改めて「平和学園の建学の精神」に思いを巡らしたいと思います。

ご参加希望の方は

heiwagakuen@gmail.com または
090-1404-8450神尾まで

タイムカプセル



今回の「まつかぜ」には同窓生に在校時や思い出や卒業後の活躍を執筆して頂きました。最初に当時の文集に綴じ込まれた作品からタイムカプセルを開けてみたいと思います。



国連協会作文コンテスト入賞(1969年)
平和学園中学校2年 紀藤千尋

出典：平和学園文集“和 やわらぎ”/平和文庫/
昭和45年3月5日発行
「平和について」

平和というこの言葉

だれでも知っているこの言葉

世界ではまだ戦争が行なわれ、人種差別もあり、交通戦争もある。みんないやなことばかりです。

こういうことがなかったら、どんなにいいかとだれでも思うことでしょう。私も思います。

でも私達はいつも自分のことを先にしてから、人のことをします。神様に祈る時でも、きっと自分のことが先でしょう。でも、それがあたりまえかもしれません。だれでも一番、自分のこと、家族が大切なのです。自分の身のまわりに不幸が来ないかぎり、あまりいろいろの出来事には耳もかたむけません。

日本と他の国の人が戦う、もしこんなことがあったら、私だって毎日早く終わるようにと祈るでしょう。でも、他の国でやっていると毎日は祈れないでしょう。あまり被害が来ないから、つい忘れてしまうのだと思います。聖書には「自分を愛するように隣人を愛なさい」という教えがあります。この教えにもとずいて、早くこの世界に平和が来てほしいと思います。国と国とがたすけあって、こまっている時はいっしょに考える。友達同士がたすけあえるのだから、国と国でもたすけあえるはずです。そのた

めの国際機関が国際連合です。

この地球には、多くの国があります。その全部の国が仲良くするという事は、大変むずかしいでしょう。たまには意見もちがうでしょう。でもそこですぐに戦争になるということはよくない、個人同士のケンカの場合でも、だれでも自分が正しいと思って言い合うのです。意見が正しいと思って言い合うのです。意見がちがったらすぐ暴力が出るということはよくないので、おたがいに相手のことも考えて、それから——ということにするとよいのです。

交通安全も、一人々々の心がけが大切なのです。一人々々が、おたがいを注意すれば、きっと、もつとぎせい者が少なくなることでしょう。



人種差別の問題も、同じ人間なのだから差別などするものではない。色なんか関係ありません。心の問題です。どうか、こういうことが早くなくなるようになってほしいと思います。これが国際連合の根本の精神であり、ユネスコやユニセフの活動の本質だと思います。国や人種、民族の差をのりこえて、人類愛を基本として、地球が一つ、世界は一つ、の精神でみんなが手をつなぎあっていく。そうすれば、りっぱな、平和な世界が出来るでしょう。みんなが平等で、きれいな心がもてると思います。

早く、あそいの世界がなくなるようにそのために、今の国際連合がもっと、もっと、世界中の国が加盟する力強い機関となり、活発に活動してほしい——と考えます。

たとえば、「月への旅行」なども、アメリカやソ連が、国でするのでなく、協力して国際連合として実行するようにしたい。

(原文のまま)

島山朋美（高1989）

1989（平成元）年3月3日に高等学校を卒業した、島山朋美です。

はやりの？断捨離で卒業証書以外アルバムや写真を処分してしまいました。が、思い出はまだしっかりと記憶に残っているので思い出話を。

生まれも住まいも横須賀の私が、茅ヶ崎の電車で1時間半もかかる平和学園に入学したいと思ったのは「制服が、かわいい！」と見学に行ったときに対応してくださった先生の礼儀正しさ。ぼんやりと「ここに入ろっかな〜」から「絶対合格する」に変



わった瞬間です。

私が入学したのは1986（昭和61）年4月。平和学園高等学校。先輩の制服は茶色。私たち新入生は紺ブレに千鳥のスカートで制服。1年の時は制服が先輩たちと違うわけですからとにかく目立つ。中学は休校中でしたので、全員入学試験を合格した生徒ばかり。数学、英語、理科はレベル別で教室が分かれていて、私が1年生でいた校舎は1年生6クラスの入っている2階建て。英語は6段階に分かれていてその6クラスが上を下への大移動。

1年生の時の教室は幼稚園の校舎が見えるところで、幼稚園の子たちが幼稚園の校舎の裏の傾斜を確か5人くらいで登って私たちの教室を窓越しにニコニコと覗いていたことがあります。ずいぶんのびのびとした幼稚園と思ったことと当時定期の学割の許可書をもらうのに歩く事務室への道をまたいで高校の校舎と幼稚園の校舎があってその小道から見ても傾斜が強いのでよくもまあ〜幼稚園の先生の目の届かないところで高校の授業を見学に来たものだなあ〜と思ったものです。

1学期の体育は、校庭と体育館と先生が分かれて

いて校庭の体育の先生は、鈴木和具先生（ゴリさん）。みっちり、お辞儀の仕方を指導されました。入試を考え見学に行ったときに学校案内をしていただいたのも実はゴリさん。

毎月1回金曜日の、LHR.全校で漢字テストがあり1年から3年まで全員同じ50問。そのあとは「私たちのエチケット」という教科書を使いエチケットの授業。

この授業どちらも在校中に何か思ったことはありませんでしたが、高校卒業してすぐ就職した私はお辞儀の仕方やエチケットで会社から褒められ、感謝しました。

図書室も思い出が多い場所です。司書の先生が常にいて、お茶を出してくれて喫茶店のよう。特に本を読むわけではありませんが同級生と家が近いわけではないので下校時間ぎりぎりまでおしゃべりしたり宿題を一緒にやったり。テスト前には苦手な教科の（私は特に数学と英語でしたが）先生にお願いしてテスト範囲の分かっていないところを教えていた



だき放課後にもかかわらず、先生方もとことんまで付き合ってくださいました。

平和でのほかの学校と違うと思われる点は、毎日の礼拝。授業で教わったことのない先生でもどんな声でどんな感じで話しをするのかを知ったのは礼拝のおかげです。1, 2, 3年すべてに宿泊があること。せいぜい修学旅行だけと思われる宿泊。平和には、修養会という聖書を学ぶ宿泊があり授業の一環とはいえなんだか楽しいものでした。3年の宿泊でクラスの代表一人がみんなの前で作文を読むという

ことに修養会前から取り組んでいて、いつも明るいあの子が実は退学をしようか悩んだこと、すごく仲良かった子が日本人と韓国人のハーフで小学3年の時に韓国から日本に来て小学1年に転入。だから実際は、みんなより3歳も上。日本語を覚えるのに国語辞典をノートに全部書いて必死に覚えたと、知りました。もし、修養会がなければ知らないままだったかもしれません。



私の高校時代は世の中の大きな変化にも直面した時代でもあり、入学したときは「国鉄」だった電車は、昭和の最後に「JR」に変更。卒業間際に「昭和」から「平成」に。チェルノブイリ原子力発電所

の事故は1年生の修養会の最中でした。三原山の噴火、世界で「エイズ」という病気も深刻化して保健の授業でも学んだことを覚えています。

学校は、講堂にパイプオルガンが入り、学園創立40周年。土屋虎男先生がご逝去、その後校長だった飯野義子先生が学園長兼任。卒業式前日か前々日の礼拝でゴリさんが「私のことを『ゴリさん』と呼ぶ生徒がいなくなる」とおっしゃったのに驚き！真正面から「ゴリさん」と呼んでいる生徒はいなかったと思われそうですが、先生このあだ名気に入っていたんだ〜と。（私の下の学年から「ガッツ」だったらしい）高校ですから、退学した同級生もいましたが、バイク事故で高校3年の12月クリスマスを目前に旅立ってしまった同級生。就職も決まっていたのに本人も後悔しているのではないかと今でも思います。

現在の藤本朝巳学園長、山田信幸中高校長は私が生徒の時の先生。藤本先生には直接教わったことはありませんが留学に行かれ教員になっても留学をする先生っているんだなあ〜と思った覚えがあります。

校友会で平和学園のお手伝いをさせていただき、50歳を過ぎた私でも当時の先生方がまだいらっしやることは私学の強みだとつくづく思うのです。これからも平和学園を卒業した生徒という誇りを持ち人生を謳歌したいと考えております。

小林 能伊（小2011中2014高2017）

私は小学校2年生から平和学園小学校へ転校しアレアセア湘南中学校、高等学校を卒業するまで11年間平和学園にお世話になりました。

小さい頃からものづくりが好きだったので色々なものを作りました。小学校の時、思い出に残る出来事があります。新聞紙で野球のグローブやバットなど用具を作り校内のウッドデッキで友達と野球を楽しんでいました。そこを通りかかった校長先生はグラウンドではなくウッドデッキで野球をしていたのに驚きグラウンドでするようにと注意されました。余りにも良くできていたので新聞紙でできているとは思わなかったそうです。学期末にはものづくりを通してみんなを楽しませることができたことを評して表彰状をいただきました。

また、小さい頃から続いているスポーツの中で今でも楽しんでいるものにテニスがあります。中学、高等学校では硬式テニス部に所属しテニスに打ち込みました。大学生の時にはテニスコーチの



アルバイトをしてコーチングを学ぶことができました。現在は茅ヶ崎でテニスサークルを作り、運営しています。市民大会などで勝てるように楽しく練習してテニスを楽しんでいます。また、アレセア高等学校のテニス部のコーチをさせていただいています。その関係で学校のテニスコートを利用して学生が大人のテニスを学べるきっかけのテニス大会を9月に開催することになり企画、ポスター作りや運営の準備などを行っているところです。平和学園小学校、アレセア湘南中学校、高等学校では、伸びやかに自分の好きなことを伸ばすことができた学校生活でした。

やはりものづくりをしたいという思いから東海大学の機械工学科に進みました。東海大学は創立者の松前重義によって平和学園と同様に世界平和実現のための人材育成を目指して作られた大学です。少人数の学校から大人数の大きなキャンパスでの学生生活を通して社会に出る前に様々な人たちと接する機会を持つことができ、とても良い経験となりました。

卒業後、海外へ留学する予定でしたが、コロナの状況が終息していないため父の仕事である写真事務所の手伝いをしています。方向性は違いますが、何かを作り上げることは、楽しく向いていると思っています。七五三、アパレルの撮影、プロフィール写真など人物を主に撮影しています。

昨年の秋に神社で百組以上の七五三の撮影をする機会に恵まれました。父親と先輩カメラマン

に技術的事や、写真撮影するうえでの心構え等、指導をしていただき、子どもたちの無邪気な姿を追いかけ、たくさんの可愛い写真撮影することができました。思い出に残る写真となれば嬉しいと思っています。

お正月に鎌倉宮で巫女による「豊栄の舞」を撮影する機会がありました。その時の写真を父の勧めで日本写真家協会主催JPS展という写真コンテストに応募したところ、優秀賞を頂くことができました。4枚1組の組み写真で題名を「祈り」としました。

巫女、観客全員が現在の象徴的なイメージのマスクをしています。光が当たり輝く巫女と対照的に光が当たらない場所の暗く写っている観客のコントラストが印象的な写真となりました。コロナ禍で暗く沈んでいる心が早く明るく心へとなるように皆が祈っているように見えたことが「祈り」というタイトルの由来です。コロナにより大学卒業後の海外留学という予定は変わりましたが、そのおかげで、写真撮影の技術を学び経験を積むことが出来、賞をいただくことが出来たことは、僕の人生にとって大きな自信となりました。これからも、どんな状況や環境になっても、常に前向きな心を忘れずに頑張っていきたいと思います。

文中写真：日本写真家協会 写真公募展 第47回2022 JPS展 優秀賞「祈り」2022年1月2日 大塔宮鎌倉宮にて撮影



神戸直幸（小2011）

私は現在社会人2年目、建設会社で営業事務をしております。この会社に決めたのは、お世話になった先輩がこの会社に勤めていることと、スケールの大きな事業に関われることです。

今の業務には大学時代の経験が多分に活かしていると感じています。私は大学4年間、日本一を目標に体育会ヨット部に所属しておりました。もともとヨット部を選んだのは、大学生活を過ごす中で何か1つの大きな目標を目指して努力する経験を得たかったからです。

1番の思い出は大学3年生の全日本大会で優勝できた瞬間です。大学1・2年生の時には残念ながら大会で敗れてしまい、非常に悔しい思いをしていました。優勝した瞬間「この日のために必死でやってきたんだ」という自負と嬉しさがありました。私は、コーチボートに乗って海況の情報収集を担当しておりました。コーチボートとは、ヨットの後方に伴走し、海況や他チームの状況を把握してコースの選択を指示する役目のモーターボートです。

「ヨット」という競技は風を上手く帆にはらませ



て、最短時間でゴールにたどり着くことを目指す競技です。「風」を原動力に走らせるため、風の変化を逐一予測・把握する必要があります。過去5年間の風の情報を調査してエクセルにまとめたこともありました。ヨットは自然を相手にする競技であるため、風が吹かなければ走ることはできず、荒天では安全面に支障が出ます。だからこそ、常に視野を広く持つことが必要でした。視野を広く持って物事を考える経験が得られたのは良かったと思っています。

下級生の頃は、1階の普段食事やミーティングをするスペースで寝ていました。今までこのような経験をすることがなく、睡眠もまともにとることができなかったため、肉体的にも精神的にも大変でした。

目標を持ってそれを達成するために努力する経験は今の仕事に活かしています。タイムスケジュールと客先からの要望を満たすため、1つ1つ業務を行うことが大事だと感じました。厳しく指導していただいた先輩方や同期、ついてきてくれた後輩たちには感謝してもしきれません。



卒業生の活動や事業 を応援します！

『まつかぜ』では卒業生の近況をご紹介させていただきます。
校友会では社会での活動を通して卒業生のネットワークが広がっていくことを応援してまいります。
卒業生の活動や事業を会報やホームページ、Facebook等でご紹介してまいります。卒業生の活動やお店をご紹介ください。自薦他薦問いません。
校友会ホームページの会員情報投稿フォームから、もしくはメール下さい。取材にもお伺いします。

例 お店の紹介 コンサート情報 展覧会 講演会 事業のPR
今お勤めされている事業内容 etc.



平和学園アレセア湘南

校友会

住所変更等は下記ホームページから手続きできます。

HOME 活動状況 同窓会の開催 卒業生情報変更 退出

社会で活躍する
平和学園の同窓生

Topics / イベントス

Facebook

ホームページ
heiwagakuen.com

平和学園・アレセア湘南

このページに「いいね!」 78 「いいね!」の

平和学園・アレセア湘南 校友会
約2ヶ月間

平和学園・アレセア湘南 卒業生の皆様へ
ホームページ記事投稿のお願い

この度、校友会ホームページに卒業生からの近況メッセージの投稿記事を掲載するページを設けることとなりました。... もっと見る

HEIWA-GAKUEN.COM
ホーム - 平和学園同窓会
HOME 活動状況 同窓会の開催 卒業生情報変更...

FACEBOOK

予定 クリスマスチャリティー・パイプオルガンコンサート 2022

日時 2022年12月10日（土）13:30開演

出演 後藤 香織 塩澤 真輝

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。
公演情報は校友会ホームページにてご確認ください。

2021年度校友会会計報告

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
ジャズコンサート	0	ジャズコンサート	24,037
パイプオルガンコンサート	146,730	パイプオルガンコンサート	127,884
小学校同窓会拠出金	280,000	まつかぜ・学園広報 印刷・発送費	260,811
維持会費	7,000	事務費	18,733
その他	5		
小計	433,735	小計	431,465
前期繰越金	330,903	次期繰越金	333,173
合計	746,638	合計	746,638

2021年度小学校同窓会会計報告

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
維持会費	314,000	卒業生記念品	30,800
新卒者入会金	70,000	バザー寄付金	0
その他	14	ブレイデー協力金	0
		維持会費振込料	17,652
		校友会拠出金(まつかぜ発行分)	280,000
小計	384,014	小計	328,782
前期繰越金	2,863,912	次期繰越金	2,919,144
合計	3,247,926	合計	3,247,926

平和学園・アレセア湘南校友会への連絡

メールアドレス： heiwagakuen@gmail.com

郵便： 253-0051 茅ヶ崎市富士見町5-2平和学園内 平和学園・アレセア湘南校友会

電話： 0467-87-1662

※校友会・同窓会への連絡がある旨をお話頂ければ、折り返し電話を差し上げます。

校友会のお手伝いをして頂けるボランティアスタッフを募集しています！

維持会費納入のお願い

校友会運営にご協力ありがとうございます。当会はボランティアで運営されており、会費は会報まつかぜの発行やWEBページの維持、学園支援などに使わせて頂いております。維持会費は同封の振込用紙を利用して納入していただきますようお願いいたします。

1口 1,000円 何口でも結構です。

※卒業後22歳までは免除となりますが発送作業の都合上、全員に振込用紙を同封しています。

銀行振込をご希望の方

スルガ銀行 茅ヶ崎支店（普通）503511 平和学園・アレセア湘南校友会

※お振込後にホームページの『寄付の受付』に必要事項をご登録ください。